

今月のなかはなさん 令和4年8月号



今年で終戦77年 今回は利用者がおきした戦争体験をご紹介します。

80歳代のAさん お父さんに招集命令書が届いたAさんのお話です。
「伊勢を発つ前に赤子だった私をつれて写真館へ行ったそうです。その写真があるからこの人がお父さんだったんだとわかります。」

90歳代のBさん 明野の航空隊で勤めていたBさんのお話です。

「滑走路00番見送りに行くように、特攻隊の同僚を見送る放送が入る。職員は一列に並びもう再び帰ってこない同僚を何人も見送った。みんな死ぬために…。いざとなったらこれを飲むようにと職場で配られた薬をいつも持ってました。敵機が落ちてきたら竹やりを持って突け!と突く練習もした。婦人会の人も竹やりを持ってました。戦後は食料難で紋付き袴 嫁入り衣装全部持って田舎の農家さんにお米や野菜と物々交換してもらった。お金なんて何の役にもたない。生きていくのにどなたも精一杯の毎日だった。戦争は勝っても負けても悲惨戦争は二度としてはいけません。」
この言葉を最後に、戦争体験の語りは終わりました。



戦争時中 想像もつかない体験を乗り越えられてきた利用者様の手



7月の誕生会 心の底からの笑顔がみえ、スタッフも心がじ〜んとうれしくなりました。



みなさんの通信を読んで頂きいつもありがとうございます。今月もよろしくお願い致します。

感謝

小規模デイサービス なかはな